

令和7年度 事業報告書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

高山市が公表した令和7年の高山市観光入込数は、479万5千人で対前年比108.4%（37万3千人増）、宿泊者数は、232万4千人で対前年比103.3%（7万5千人増）、うち外国人宿泊者数は、過去最高の97万8,312人で対前年比127%（20万8,569人増）となりました。

一方、日本人宿泊者数は、134万5,688人で対前年比91%（13万4千人減）と減少しました。

このような情勢の中、当センターのギャラリー来場者数は8,634人で対前年比112.8%（982人増）となり、広く国内外に飛騨のものづくりを紹介することが出来ました。

一方、国内旅行者数の減少等により、高山市指定管理事業の駐車場利用状況は、利用者数が減少し、駐車場利用料金は減額となりました。

令和7年度に実施した主要事業の概況は、次のとおりです。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、布製品・木工・ガラス・陶磁器・染物・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られており、全国的知名度・認知度を高めるため、積極的なPRが必要であることから、これら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

②実施期間 令和8年2月12日（木）～17日（火） 6日間

③実施場所 兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1
さんちかホール（約250㎡）

④出展者数 7社

⑤展示内容

ア. 工芸品展示コーナー

飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器、布製品、布製品、染物、竹細工、ガラス、木工小物、木工家具 等

イ. 観光・工芸品パンフレットコーナー

⑥来場者数 1,578人

(2) 飛驒の伝統的工芸品展

①実施目的

飛驒地域の代表的工芸品である飛驒春慶、一位一刀彫及び陶磁器（小糸焼・渋草焼）を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。

②実施期間 令和7年11月1日（土）～7日（金） 7日間
9：00～19：00

（展示は、11月30日まで常設展示として継続）

③実施場所 飛驒高山まちの博物館
高山市上一之町75

④展示内容 飛驒春慶、一位一刀彫、小糸焼、渋草焼芳国舎 84点

⑤来場者数 1,422人

(3) 地場産品普及開拓事業

①実施目的

飛驒地域の伝統的工芸品・郷土工芸品の普及と販路開拓を目的に、首都圏において展示会を実施した。

②実施期間 令和7年12月5日（金）～18日（木） 14日間
11：00～19：00

（初日は12時から／最終日は18時まで）

③実施場所 伝統工芸青山スクエア
東京都港区赤坂8丁目1番22号

④出品内容 7工芸品
飛驒春慶、一位一刀彫、渋草焼芳国舎、小糸焼、飛驒染、
飛驒さしこ、小屋名しょうけ

⑤来場者数 3,342人

(4) 飛驒ものづくり展

①実施目的

飛驒地域の優れたものづくりのPRを目的に、地場産センター1階 匠&クラフトギャラリーにおいて企画展を3回（第9回、第10回、第11回）実施した。

②実施場所 飛驒地域地場産業振興センター
飛驒・匠&クラフトギャラリー

③実施内容

ア. 第9回 飛驒ものづくり展

テーマ：炎塊・飛驒の陶磁器

実施期間：令和7年4月25日（金）～8月2日（土）100日間

内容：炎塊・飛驒の陶磁器をテーマに企画展を開催した。

出品者：5社

来場者数：2,396人

イ. 第10回 飛驒ものづくり展

テーマ：岳の狭間の暮し

実施期間：令和7年8月29日（金）～12月6日（土）100日間

内容：岳の狭間の暮しをテーマに企画展を開催した。

出品者：7社

来場者数：2,641人

ウ. 第11回 飛驒ものづくり展

テーマ：次世代木彫作家

実施期間：令和8年1月16日（金）～3月31日（火）75日間

内容：次世代木彫作家をテーマに企画展を開催した。

出品者：10名

来場者数：1,465人

④来場者数（3回合計） 6,502人

2. 地域人材確保・養成事業

（1）飛驒地域ものづくり技能向上研修

①実施目的

飛驒地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に、第一線の職人から直接指導してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施した。

②実施期間 令和7年8月20日（水）～ 令和8年2月8日（日）

③研修内容

ア. 板物（留付）（10名が2回研修。延べ2回・20名）

飛驒春慶の木地の一つである板物（留付）の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課題 <八角小鉢、隅切二段弁当箱>

カンナの調整、木地加工、底板入れ

講師 小鳥春慶木地製作所 小鳥 昇一氏

参加者 10名

イ. 春慶塗（8名が10回研修。延べ10回・80名）

当地の代表的工芸品である春慶塗の方法を通し、漆の扱い方・漆の塗り方の基礎を習得した。

課題 目止め、下地、下塗り、上塗り

講師 鈴木漆器 鈴木 俊文氏

参加者 8名

ウ. 木彫（2組（7名1組）が6回研修。延べ12回・84名）

屋台彫刻や寺社建築の装飾にも使われる木彫の基礎を習得した。

課題 <招き猫（犬）>

粗彫り、中彫り、仕上彫り

講師 小坂彫房 小坂 礼之氏

参加者 14名

※ 3種類の研修に参加した人数等

- ・実人数 32名
- ・延べ回数 24回
- ・延べ人数 184名

(2) 伝統工芸後継者育成インターンシップ事業

①実施目的

飛騨地域の伝統工芸は、職人の高齢化と後継者不足が課題となっているため、伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施した。

②実施内容

国の伝統的工芸品に指定されている「飛騨春慶」の技を受け継ぐ「小鳥春慶木地製作所」の木地師の研修生採用を目的とした1泊2日のインターンシップを実施。

ア. 応募数 22名

イ. 一次選考（書類選考）8名選定

ウ. 二次選考（オンライングループ面談）

実施日：令和7年8月18日（月）・19日（火）

参加者：6名 インターンシップ参加者6名を決定

エ. インターンシップ及び面接会実施

実施日：令和7年9月4日（木）・5日（金）

実施場所：小鳥春慶木地製作所（見学、仕事体験）、高山屋台会館（見学）、地場産センター（座談会、面接会）

参加者：5名

オ. 成果 研修生1名誕生

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回（第74・75回）実施をした。

②実施内容

<春>

ア. 実施期間 令和7年5月31日（土）・6月1日（日）2日間

イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場

ウ. 出店者数 24（高山市 14 飛騨市 5 下呂市 2
飛騨地域 1 その他 2）

エ. 来場者数 8,194人

<秋>

ア. 実施期間 令和7年10月4日（土）・5日（日）2日間

イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場

ウ. 出店者数 24（高山市 14 飛騨市 4 下呂市 2

その他 4)

エ. 来場者数 5, 348人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらうことで一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

②実施日 令和7年7月26日(土)

③参加者 14組 28名

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。

・飛騨高山観光客誘致推進事業

4. 地場産業活性化奨励事業

(1) 飛騨のクラフト販路開拓事業

①実施目的

飛騨地域に育っているクラフト制作者(飛騨のつくり手の会、飛騨の木工房の会)の作品を広く紹介し、需要を促進することによりクラフト制作が集積された産業として進展することを目的に実施した。

②実施期間 令和7年7月2日(水)～6日(日)5日間

③実施場所 飛騨・世界生活文化センター

高山市千島町900-1

飛騨の家具フェスティバルに出展

④出展者数 22社

⑤来場者数 3, 157人

5. その他の事業

(1) 「2025 飛騨の家具フェスティバル」

飛騨の家具フェスティバル実行委員会の実施した事業に、後援団体として事業の推進に協力した。

①主 催 (協) 飛騨木工連合会

②開催期間 令和7年7月2日(水)～6日(日)5日間

③来場者数 25, 000人

II. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

施設利用状況

令和7年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 541回（前年度比 31回増）

施設利用料収入 2,809,974円（前年度比 23,949円増）

単位：円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用料	3,572,415	3,596,769	4,469,080	2,786,025	2,809,974
利用回数	423	484	604	510	541

〔コロナによる貸館業務の停止及び時間短縮状況等〕

- ・第4波 令和3年4月26日～6月20日（56日間）貸館業務の時間短縮
- ・第5波 令和3年8月27日～9月30日（35日間）原則貸館業務の停止
- ・第6波 令和4年1月21日～3月6日（45日間）貸館業務の時間短縮
- ・第7波 令和4年7月15日～9月30日（78日間）BA.5対策強化宣言
- ・第8波 令和4年12月23日～令和5年2月5日（44日間）

医療ひっ迫防止対策宣言

◎令和5年5月8日 新型コロナウイルス感染症 5類感染症に移行

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

令和7年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 27,226台（前年度比 199台減）

駐車料金収入 12,909,093円（前年度比 391,257円減）

単位：円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
駐車場利用料	8,294,650	12,694,520	13,208,630	13,300,350	12,909,093
利用台数	26,154	31,637	27,672	27,425	27,226

※令和5年1月に精算機が更新され、利用台数のカウントが定期券等を除く台数となった。

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 令和7年5月29日(木)
 - ・主な審議内容 令和6年度事業報告及び決算報告の承認
- ② 第2回理事会 令和8年3月26日(木)
 - ・主な審議内容 令和8年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認

(2) 評議員会

- ① 書面議決 令和7年4月1日(火)
 - ・主な審議事項 理事の選任(みなし決議)
- ② 定時評議員会 令和7年6月19日(木)
 - ・主な審議内容 令和6年度決算書類の承認
評議員、理事及び監事の選任

2. 経営検討委員会の開催

- ① 第6回経営検討委員会 令和7年9月29日(月)
 - ・主な審議内容 令和7年度事業の進捗状況及び令和8年度事業の方針について

3. 岐阜県財政援助団体等の監査について

監査対象：令和6年度決算に係る監査(令和5年度・令和4年度も対象)

① 予備監査

期日：令和7年10月7日(火)

監査員：監査委員事務局監査課 田中主任・堀田主査 同行者：地域産業課 浅野主任

監査講評

- ・経費支出伺い書は、支出負担行為であり、契約額が確定した段階もしくは、契約日とする。(プロポーザル事業)
- ・現金保管について、現状に即した内規とする。(内規の変更)

② 本監査

期日：令和7年11月26日(木)

監査委員：澄川監査委員 鈴木代表監査委員 随行者：中通企画監

監査結果：「指摘・指導事項なし。」

4. 各種推薦

- ① 飛騨高山の名匠認定
 - ・小坂礼之 木彫工

- 令和7年12月1日推薦 令和8年2月19日認定
- ・挟土宝眼 木彫工
- 令和7年12月1日推薦 令和8年2月19日認定
- ・大屋文雄 建具製造工
- 令和7年12月1日推薦 令和8年2月19日認定
- ・義基憲人 切り絵師
- 令和7年12月1日推薦 令和8年2月19日認定

② 卓越技能者の厚生労働大臣表彰

- ・高田慈眼 木工製品製造（仏像）
- 令和8年1月27日推薦